



2024年9月27日

各 位

会社名 A i ロ ボ テ ィ ク ス 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 龍 川 誠
(コード番号：247A 東証グロース市場)
問合せ先 取締役 管理部長 坂 元 優 太
(TEL. 03-6809-0142)

東京証券取引所グロース市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は本日、2024年9月27日に東京証券取引所グロース市場に上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、2025年3月期（2024年4月1日～2025年3月31日）における当社の業績予想は、次のとおりであり、また、最近の決算情報等につきまして別添のとおりであります。

【個別】 (単位：百万円、%)

項目	決算期	2025年3月期 (予想)		2025年3月期 第1四半期会計期間 (実績)		2024年3月期 (実績)		
		対売上高 比率	対前期 増減率		対売上 高比率		対売上 高比率	
売 上 高		10,800	100.0	53.0	2,559	100.0	7,061	100.0
営 業 利 益		1,751	16.2	39.3	478	18.7	1,256	17.8
経 常 利 益		1,700	15.7	37.7	472	18.5	1,234	17.5
当 期 (四 半 期) 純 利 益		1,200	11.1	45.5	333	13.0	825	11.7
1株当たり当期 (四半期)純利益		115円38銭		43円09銭		137円52銭		
1株当たり配当金		0円00銭		—		0円00銭		

- (注)
- 当社は連結財務諸表及び四半期連結財務諸表を作成しておりません。
 - 2024年3月期（実績）及び2025年3月期第1四半期会計期間（実績）の1株当たり当期（四半期）純利益は期中平均発行済株式数により算出しております。
 - 2025年3月期（予想）の1株当たり当期純利益は、公募株式（230,000株）を含めた予定期中平均株式数により算出しております。
 - 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であったため、期中平均株価が把握できませんでしたので記載しておりません。
 - 当社は、2024年5月15日開催の取締役会決議により、2024年6月14日付で普通株式1株につき2,000株の割合で株式分割を行っております。2024年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。

【2025年3月期業績予想の前提条件】

当該業績予想数値は2024年6月までの実績値に、7月度の実績見込みと2024年8月以降の予測数値を合算して策定のうえ、2024年8月6日の臨時取締役会での決議を経たものであり、7月以降の月次見通しと本開示時点までの実績に大きな差異は生じておりません。

(当社全体の見通し)

当社は「自由」とは「選択肢」であり、選択肢が多いことは幸せに繋がると考えております。

「新しい自由を創造する会社」となることをミッションに掲げ、世界中の人々に「今までにない選択肢」をもたらすことに価値を見出し、より良い未来を実現してまいります。

当社は、スキンケア商品や美容家電等の自社ブランドの開発及び個人顧客に対する販売を行う「D2Cブランド事業」を主たる事業としております。

主力ブランドであるスキンケアブランド「Yunth」は、「生VC美白美容液」を中心に展開しており、商品のラインナップを拡大させております。その他、2024年2月には、美容家電ブランドである「Brighte」から美顔器を発売開始しております。

当社が主に属する国内のスキンケア市場は、2023年において1.3兆円に達しており（出所：富士経済グループ「化粧品マーケティング要覧 2024」）、将来においても当社の成長機会は十分に見込まれると考えております。また、新たに発売を開始した「Brighte」ブランドが属する国内の美容・健康家電/雑貨市場は、2023年において3,922億円の市場規模が見込まれ、市場拡大が予想されています。（出所：富士経済グループ「美容&健康家電市場・関連サービストレンドデータ 2023-2024」）

現在当社の主たる事業であるD2Cブランド事業においては、AI技術を用いた「SELL（セル）」の活用により、地位の確立と他社との更なる差別化を推進しております。また今後は、新ブランド、新商品の開発を進めるとともに、中長期的には、グローバルマーケットへの展開を模索していることから、将来においても当社の成長機会は十分に見込まれると考えております。

このような状況のもと、当社の2025年3月期の業績予想は、売上高 10,800百万円（前期比53.0%増）、営業利益 1,751百万円（前期比39.3%増）、経常利益 1,700百万円（前期比37.7%増）、当期純利益 1,200百万円（前期比45.5%増）を見込んでおります。

(売上高)

D2Cブランド事業は、商品を必要な時に都度お買い求めいただく単品販売売上と同一商品を一定の間隔で継続的に購入していただく定期販売売上で構成されております。また、販売チャネルとして「自社ECサイト販売」「ECモール販売」「店頭卸販売」を通じて、顧客に当社商品の販売を行っております。

当社は、販売商品及び販売チャネル別に、想定販売個数と想定販売単価を掛け合わせ、業績予想数値を算出しております。

想定販売個数は、業績予想数値策定時点における2024年3月期及び2025年3月期第1四半期（2024年4月以降に新規に発売を開始した商品は発売時期から2024年6月）までの販売商品及び販売チャネル別の単品販売個数及び定期販売個数の実績に、今後想定される販売商品及び販売チャネル別の単品販売個数及び定期販売個数の増加を加味して算出しております。

単品販売個数は、2024年3月期及び2025年3月期第1四半期（2024年4月以降に新規に発売を開始した商品は発売時期から2024年6月）までの平均実績及び各種プロモーションによる認知拡大及び新規広告媒体への出稿に伴う個数の増加を考慮し、策定しております。

定期販売個数は新規販売個数と既存販売個数に分けて策定しており、新規販売個数は2024年3月期及び2025年3月期第1四半期（2024年4月以降に新規に発売を開始した商品は発売時期から2024年6月）までの新規獲得件数及び各種プロモーションによる認知拡大及び新規広告媒体への出稿に伴う個数の増加を考慮し、設定しております。既存販売個数は前回発送定期販売数に継続率を掛け合わせることで算出してしております。継続率は2023年4月～2024年6月までの平均値を考慮し、設定しております。

想定販売単価は、業績予想数値策定時点における商品及び販売チャネル別の単品販売単価及び定期販売単価に、今後想定される販売商品及び販売チャネル別の単品販売単価及び定期販売単価を考慮して算出してしております。

以上を踏まえ、2025年3月期は、イベント等の各種プロモーションによる認知拡大等を進め、単品販売個数及び定期販売個数の増加に努めることで、売上高は10,800百万円（前期比53.0%増）と見込んでおります。なお、2025年3月期第1四半期会計期間の実績は売上高2,559百万円であります。2025年3月期第1四半期は進捗率が23.7%と計画通りに進捗しており、第1四半期までの実績を踏まえ、第2四半期以降においても計画通り進捗すると見込んでおります。

当社は重要業績指標として、定期会員数を意識した経営に取り組んでおります。当社の売上の7割弱が自社ECサイトでの販売であり、その内に占める定期購入サービスの割合が高く、かつ継続的な収益となることから、これを重要業績指標として定めております。

定期会員数については、新規顧客の獲得と継続率の維持・向上によって本指標を高めていく方針です。なお、定期会員数は2023年3月期末時点で72,496名、2024年3月期末時点で102,747名、2025年3月期第1四半期末時点では116,277名となっております。

（売上原価、売上総利益）

売上原価は各商品の仕入単価と販売個数であり、仕入単価は直近の仕入状況をもとに策定しております。業績予想数値策定時点における仕入状況及び今後予定されている製造委託先における当社専用ラインの設置による単価上昇を加味して算出した仕入単価を売上高予想数値策定時の販売個数に掛け合わせて算出してしております。

以上を踏まえ、2025年3月期の売上原価を2,317百万円（前期比49.7%増）、売上総利益を8,482百万円（前期比53.9%増）と見込んでおります。売上原価の増加要因は主に売上拡大にともなう増加であります。売上高の前期比成長率よりも売上原価の前期比成長率の方が低くなっている要因としては、売上原価率の低い商品の売上比率が増加することです。なお、2025年3月期第1四半期会計期間の実績は売上原価538百万円、売上総利益2,021百万円です。2025年3月期第1四半期は進捗率が23.8%と計画通りに進捗しており、第1四半期までの実績を踏まえ、第2四半期以降においても計画通り進捗すると見込んでおります。

（販管費及び一般管理費、営業利益）

販売費及び一般管理費の内訳は主に広告宣伝費に加え、販売促進費、荷造運賃、人件費等であり、その他経費も含め積み上げで算出してしております。

広告宣伝費は新規獲得費用であり、売上高予想数値策定時の新規でお買い上げいただいた販売個数にCPA（顧客獲得単価）を掛け合わせて算出しております。CPAは業績予想数値策定時点における2023年4月～2024年6月までの過去実績に獲得顧客層の拡大により今後想定されるCPAの上昇を加味して算出しております。この結果、販売個数の増加を主な要因として広告宣伝費の金額は2,399百万円（前期比129.4%増）を見込んでおります。

販売促進費は主に認知拡大にかかるプロモーション費用等であり、今期予定されているプロモーション活動費用等の積み上げで策定されております。この結果、販売促進費の金額は851百万円（前期比0.8%増）を見込んでおります。販売促進費前期比が売上高前期比と乖離する要因としては主に2024年3月期に実施されたBrighteのブランドローンチに伴う大型プロモーションに起因する減少であります。

荷造運賃は商品発送にかかる費用であり、売上高予想数値に売上高に対する荷造運賃の比率を掛け合わせて算出しております。売上高に対する荷造運賃の比率は、業績予想数値策定時点における2023年4月～2024年6月までの過去実績の平均値を基に算出しております。この結果、荷造運賃の金額は647百万円（前期比27.6%増）を見込んでおります。

人件費については、採用計画を踏まえた人員の推移を基に算出しており、2025年3月期に6名（D2Cブランド事業部5名、管理部1名）の増加を計画しております。この結果、人件費の金額は494百万円（前期比18.3%増）を見込んでおります。

以上を踏まえ、2025年3月期の販売費及び一般管理費を6,731百万円（前期比58.2%増）、また営業利益を1,751百万円（前期比39.3%増）と見込んでおります。なお、2025年3月期第1四半期会計期間の実績は販売費及び一般管理費1,542百万円、営業利益478百万円であります。2025年3月期第1四半期は進捗率が27.3%と計画通りに進捗しており、第1四半期までの実績を踏まえ、第2四半期以降においても計画通り進捗すると見込んでおります。

（営業外損益、経常利益）

営業外収益は2025年3月期第1四半期会計期間に発生した為替差益3百万円のみであり、2025年3月期第2四半期以降見込んでおりません。営業外費用は主に支払利息及び社債利息並びに上場関連費用を見込んでおります。

以上を踏まえ、2025年3月期の営業外収益を3百万円、営業外費用を55百万円（前期比140.4%増）、また経常利益を1,700百万円（前期比37.7%増）と見込んでおります。なお、2025年3月期第1四半期会計期間の実績は経常利益472百万円であります。2025年3月期第1四半期は進捗率が27.8%と計画通りに進捗しており、第1四半期までの実績を踏まえ、第2四半期以降においても計画通り進捗すると見込んでおります。

（特別利益・損失、当期純利益）

特別損益につきましては、発生を見込んでおりません。また法人税等は499百万円を見込んでおります。以上の結果、当社における2025年3月期の当期純利益は1,200百万円（前期比45.5%増）と見込んでおります。なお、2025年3月期第1四半期会計期間の実績は四半期純利益333百万円であります。2025年3月期第1四半期は進捗率が27.8%と計画通りに進捗しており、第1四半期までの実績を踏まえ、第2四半期以降においても計画通り進捗すると見込んでおります。

【業績予想に関するご留意事項】

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。

以 上



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2024年9月27日

上場会社名 Aiロボティクス株式会社 上場取引所 東
コード番号 247A URL <https://ai-robotics.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 龍川 誠
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 坂元 優太 TEL 03 (6809) 0142
四半期報告書提出予定日 - 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の業績 (2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	2,559	-	478	-	472	-	333	-
2024年3月期第1四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	43.09	-
2024年3月期第1四半期	-	-

- (注) 1. 当社は2024年3月期第1四半期については財務諸表を作成していないため、2024年3月期第1四半期の数値及び2025年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であるため期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。
3. 当社は、2024年6月14日付で普通株式1株につき2,000株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	5,052	1,564	31.0
2024年3月期	4,555	1,129	24.8

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 1,564百万円 2024年3月期 1,128百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2025年3月期	-	-	-	-	-
2025年3月期(予想)	-	0.00	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2025年3月期の業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（％表示は、通期は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,800	53.0	1,751	39.3	1,700	37.7	1,200	45.5	115.38

（注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社は、2024年6月14日付で普通株式1株につき2,000株の割合で株式分割を行っております。当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

3. 2025年3月期（予想）の1株当たり当期純利益は、公募株式（230,000株）を含めた予定期中平均株式数により算出しております。

※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

詳細は、添付資料P.6「2. 四半期財務諸表及び主な注記（3）四半期財務諸表に関する注記事項（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期1Q	11,134,000株	2024年3月期	6,000,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	－株	2024年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期1Q	7,748,945株	2024年3月期1Q	6,000,000株

（注）当社は、2024年6月14日付で普通株式1株につき2,000株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、企業の設備投資やソフトウェア投資、さらには公共投資が増加しており、景気回復の兆しが見えてきております。しかしながら、依然として円安は続いており、輸入物価の上昇による原料・エネルギーコストの高止まり、更にはこれらの影響による消費者の購買力低下など、不透明な状況は続いております。

このような環境下において、当社は2024年2月にローンチした美容家電ブランド「Brighte」を堅調に成長させております。2024年6月には本社事務所を増床し、人材採用を積極的に行い、D2Cブランド事業の一層なる拡大と強化に取り組んでおります。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は2,559,589千円、営業利益は478,638千円、経常利益は472,834千円、四半期純利益は333,915千円となりました。

なお、当社はD2Cブランド事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期会計期間末における資産合計は5,052,492千円となり、前事業年度末に比べ497,297千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が132,509千円減少したものの、売掛金が279,821千円、有形固定資産が230,050千円増加したことによるものです。

（負債）

当第1四半期会計期間末における負債合計は3,487,874千円となり、前事業年度末に比べ61,857千円増加いたしました。これは主に、未払法人税等が151,622千円減少したものの、未払金が116,866千円、有利子負債が102,685千円増加したことによるものです。

（純資産）

当第1四半期会計期間末における純資産合計は1,564,618千円となり、前事業年度末に比べ435,440千円増加いたしました。これは主に、新株予約権の行使による株式発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ50,762千円、四半期純利益の計上により利益剰余金が333,915千円増加したことによるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績予想については、本日公表いたしました「東京証券取引所グロース市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」をご参照ください。

なお、当該業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,017,507	2,884,997
売掛金	701,049	980,870
商品	503,988	567,074
貯蔵品	23,860	54,015
前渡金	75,957	101,112
前払費用	17,794	22,558
その他	259	2,298
流動資産合計	4,340,416	4,612,926
固定資産		
有形固定資産		
建物	—	205,684
減価償却累計額及び減損損失累計額	—	△1,182
建物 (純額)	—	204,502
工具、器具及び備品	17,606	62,677
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,182	△9,465
工具、器具及び備品 (純額)	11,424	53,212
建設仮勘定	20,235	—
一括償却資産	2,948	6,944
有形固定資産合計	34,608	264,658
投資その他の資産		
出資金	10	10
長期前払費用	979	886
敷金及び保証金	98,638	96,105
繰延税金資産	58,451	58,451
投資その他の資産合計	158,079	155,454
固定資産合計	192,688	420,112
繰延資産		
社債発行費	22,089	19,452
繰延資産合計	22,089	19,452
資産合計	4,555,194	5,052,492

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2024年6月30日)
流動負債		
買掛金	185,039	169,582
1年内返済予定の長期借入金	394,952	398,271
1年内償還予定の社債	488,000	380,000
未払金	568,347	685,214
未払費用	53,604	34,039
未払法人税等	299,105	147,483
未払消費税等	36,806	54,891
その他	8,705	19,570
流動負債合計	2,034,561	1,889,053
固定負債		
社債	701,525	701,525
長期借入金	689,930	897,296
固定負債合計	1,391,455	1,598,821
負債合計	3,426,016	3,487,874
純資産の部		
株主資本		
資本金	576,673	627,436
資本剰余金	573,673	624,436
利益剰余金	△21,499	312,415
株主資本合計	1,128,847	1,564,288
新株予約権	330	330
純資産合計	1,129,177	1,564,618
負債純資産合計	4,555,194	5,052,492

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	当第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	2,559,589
売上原価	538,504
売上総利益	2,021,084
販売費及び一般管理費	1,542,446
営業利益	478,638
営業外収益	
受取利息	1
為替差益	3,829
営業外収益合計	3,830
営業外費用	
支払利息	3,228
社債利息	1,154
社債発行費償却	2,636
上場関連費用	2,216
その他	398
営業外費用合計	9,634
経常利益	472,834
税引前四半期純利益	472,834
法人税、住民税及び事業税	138,919
法人税等合計	138,919
四半期純利益	333,915

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当第1四半期会計期間において、新株予約権の行使による株式発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ50,762千円増加しております。

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は法人税、住民税及び事業税に含めて表示しております。

（セグメント情報）

当第1四半期累計期間（自2024年4月1日 至2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当社は単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前事業年度までは、「D2Cブランド事業」「その他」を報告セグメントとしておりましたが、当第1四半期累計期間より、「D2Cブランド事業」の単一セグメントに変更しております。

この変更は、当社における事業の選択と集中に伴い「その他」の主たる事業であるAIマーケティング事業を休止したことによるものであります。

これにより、当社は単一セグメントとなることから、当第1四半期累計期間のセグメント情報の記載を省略しております。